

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ウィズ・ユー羽曳が丘		
○保護者評価実施期間	R7年1 月20 日		～ R7年2 月1 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7年1 月20 日		～ R7年1 月30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2 月15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	英語や体操などの外部講師を招き、楽しい時間を過ごしたり、工作、リトミック、センサーマット、絵本の読み聞かせなど様々なプログラムで子供の楽しいを引き出します。	初めての体験してもらえらるプログラムを考えています。特にお出かけプログラムは、公共の施設の利用の仕方などをみんなで学びます。また、待つ、並ぶなども習得できる外出プログラムで、出来ることをどんどん増やします。	指導員が新しい取り組みに貪欲となり、支援を行っています。不具合も話し合い、次回に繋げる取り組みを常に行います。
2	公園や図書館などが近隣にある好立地も事業所の強みです。	絵本の読み聞かせは必ず行っています。また、時間の確認、集団行動の大事さを分かってもらうために、終わりの会への参加は重視しています。	一人で絵本が読める時間を確保し、静の支援も行います。
3	子どもの自主性を重んじる。 特性をとらえ支援の方法が柔軟である。 子供と本気で遊ぶ指導員、保育士で構成されている。 個別支援計画は、保護者のニーズをしっかりと反映し作成しています。理学療法士も在籍で日常生活の質の向上も同時に行えています。	子どものコンディションを確認して支援を行っています。週の終わりに近づいた時には児童は疲れており、支援を受けられる環境にない場合があります。その際は、子供の気持ちをしっかりと受け取って支援を少し緩めて、楽しく過ごせるよう努めています。	遊びの器をしっかりと埋めてあげてから、支援を行います。そうすることにより、支援がスムーズになりストレスが少なくなると考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練など行っていますが、曜日により参加できない児童がいる事。	事前に開催日時を保護者に周知し、参加してもらえるよう促す。	書面のお知らせも含めて、LINEなどでも周知を行う。
2	外部の研修になかなか参加が出来ずにいる。	配置人員は充足しているが、今以上の余剰人員不足	人員を十二分に確保し、外部の研修に参加できる環境を作っていきたい。
3			